

10月14日 限定配信セッション

下記のセッションはご覧の日時に配信されます（イベント期間中 1 回だけ視聴可能です）

ZUKEN digital SESSIONS 2021
2021/10/14 (木) - 22 (金)

10/14 (木)	
10:00 10:30	1L1 [ビジョン] コロナ下の営業体制・ コロナ後の新DXソリューション  株式会社図研 専務取締役 事業本部長 上野 泰生
10:40 11:05	1L2 [特別講演] 両利きの設計改革  ソニーグループ株式会社 執行役員 CIO 樋田 真 様
11:20 11:55	1L3 [アカデミック] AI 基礎と CAD データ処理への応用  国立情報学研究所・総合研究大学院大学 教授 山田 誠二 様
昼休み	
13:30 14:05	1L4 [ビジョン] 図研エンジニアリング IT ソリューションの 総合的ビジョンとロードマップ  株式会社図研 専務取締役 技術本部長 仮屋 和浩
14:10 14:35	1L5 [お客様事例] 【#脱BD】Design Forceの 全社活用と機能拡張   株式会社村田製作所 技術・事業開発本部 共通基盤技術センター CAD/CAE 技術部 部長 吉田 憲雄 様 設計技術 1 課 マネージャー 山本 和輝 様

10月15日 限定配信セッション

下記のセッションはご覧の日時に配信されます（イベント期間中 1 回だけ視聴可能です）

ZUKEN digital SESSIONS 2021
2021/10/14 (木) - 22 (金)

10/15 (金)	
10:00 10:35	2L1 [新製品発表] トランスポーターの 電装設計を革新する E3.infinite  株式会社図研 技術本部 A&M 開発部 取締役 部長 早乙女 幸一 / 統括課長 宇野 史朗 AM1 セクション パートナー 川村 幸嗣
10:40 11:10	2L2 [お客様事例] ロボット農機の電装設計への 図研ソリューションの活用  ヤンマーホールディングス株式会社 技術本部 技監・副本部長 大久保 稔 様
この時間帯は限定配信はございません。 常時配信動画をご覧ください。	
昼休み	
13:30 13:55	2L4 [お客様事例] E3.series の導入検討にいたった 背景と検討状況  本田技研工業株式会社 設備生産部 設備制御課 改革 / 品質 Gr グループリーダ 石田 健人 様
14:10 14:35	2L5 [お客様事例] E3.series による生産設備の電気設計 プロセス改革と省力化への取組み  株式会社ヒラノテック 取締役 設計部長 大森 克洋 様
14:50 15:30	2L6 [お客様事例] 生産技術部門の方は必見！ 組立順序を自動生成する 『3D 作業指示書』の作成事例   株式会社日立製作所 制御プラットフォーム統括本部 サービス・制御プラットフォームシステム本部 産業 IoT & ロボティクス設計部 主任技師 菅原 禎生 様 株式会社図研 オートモーティブ&マシンリー事業部 取締役事業部長 大澤 岳夫 様

イベント期間 カレンダー

	10/14 (木)	10/15 (金)	10/16 (土)	10/17 (日)	
午前中	日時限定配信 1L1 1L2 1L3	日時限定配信 2L1 2L2	この時間帯は 常時配信動画をお楽しみください		
午後 14:45	日時限定配信 1L4 1L5	日時限定配信 2L4 2L5 2L6			
午後・夜間	15:30				
	10/18 (月)	10/19 (火)	10/20 (水)	10/21 (木)	10/22 (金)
午前中	この時間帯は 常時配信動画をお楽しみください			日時限定配信 3L1 3L2 3L3	日時限定配信 4L1 4L2 4L3
午後 14:45				日時限定配信 3L4 3L5	イベント閉会挨拶・プレゼント抽選
午後・夜間	12:00 12:30				



講演動画を視聴された際は、
是非アンケートにご協力ください。
ご回答いただいた方には
プレゼント当選のチャンスがあります。

ZUKEN digital
SESSIONS 2021

10月21日 限定配信セッション

下記のセッションはご覧の日時に配信されます (イベント期間中 1 回だけ視聴可能です)

10/21(木)	
10:00 10:30	<p>3L1 [トレンド]</p> <p>CASE 時代における半導体先行開発の取り組み</p> <p>株式会社ミライズテクノロジーズ SoC 企画部 主査 藤本 裕 様</p>  <p>CASE 時代には車載半導体のなおいっそうの技術革新が求められます。これに対してデンソーおよびトヨタ自動車は昨年 4 月にミライズテクノロジーズを設立し、両社の半導体部門統合による研究加速を推進することとしました。講演では弊社の取り組みについてご紹介いたします。</p>
10:40 11:15	<p>3L2 [新製品発表]</p> <p>半導体・メカ・実装の壁を取りのぞく新設計環境 MEMS Designer</p> <p>株式会社図研 技術本部 EL 開発部 部長 畑 直樹 EL4 セクション シニア・パートナー 小林 由一</p>  <p>MEMS 技術の発展に伴い、各種センサーや SAW フィルター、それらを含む複合モジュールなど、多様な MEMS 製品が普及しています。これら MEMS 製品設計の専用ソリューションとして、図研は新製品 MEMS Designer をリリースします。本ソリューションは半導体上に形成する MEMS の複雑な物理形状設計の編集機能ばかりではなく、MEMS 本体 / メカ部品 / パッケージ / PCB を含むモジュール全体の設計最適化を支援します。本セッションでは新製品 MEMS Designer の特徴、今後のロードマップをご紹介します。</p>
11:20 11:55	<p>3L3 [アカデミック]</p> <p>Society5.0 の実現に向けたデジタルアーキテクチャデザイン</p> <p>慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授 工学博士 白坂 成功 様</p>  <p>Society5.0 とは、デジタル技術を活用することで実現できる、分野を超えたつながりにより生まれる新たな人間中心の社会。このような社会を実現する仕組みとしての「デジタル・アーキテクチャ」をデザインすることが必要です。本講演では、デジタルアーキテクチャデザインの必要性を通じて、MBSE の必要性や活用のポイントを紹介する。</p>
昼休み	
13:30 13:55	<p>3L4 [お客様事例]</p> <p>モデルベースアプローチによる半導体と機器開発の共創と GENESYS 活用</p> <p>東芝デバイス & ストレージ株式会社 デバイス&ストレージ開発センター パッケージソリューション技術開発部 シニアエキスパート 福場 義憲 様</p>  <p>顧客と半導体サプライヤと協力して機器レベルの構想と一緒に練る機会が増えることが予測されるが、システムの要求を理解し最適な半導体ソリューションの提供ができるよう一貫貫の開発思想を高めたい。モデルベースアプローチ方法として MBSE と MBD の関係性を理解して半導体として MBSE に期待すること、または活用方法を実際に GENESYS を使って開発工程をデザインした事例を交えて考察する。</p>
14:10 14:40	<p>3L5 [お客様事例]</p> <p>CADVANCE → CR-8000/DS-CR へのリプレイス事例のご紹介</p> <p>横河電機株式会社 横河プロダクト本部 センシングセンター 開発統括部 共通技術部 力武 純平 様</p>  <p>CADVANCE の移行先として CR-8000/DS-CR を採用する決め手となったポイントや導入プロセスのご説明とともに、導入にあたって苦労した点や環境構築時の注意点などをご紹介します。また、設計品質向上や開発効率改善 (設計者の負荷軽減) などをおこなった取り組みについてもご紹介いたします。</p>

10月22日 限定配信セッション

下記のセッションはご覧の日時に配信されます (イベント期間中 1 回だけ視聴可能です)

10/22(金)	
10:00 10:25	<p>4L1 [お客様事例]</p> <p>CR-8000 解析プラットフォーム活用のご紹介</p> <p>パナソニック株式会社 インダストリー社 モノづくり革新センター 解析ソリューション部 部長 東谷 比呂志 様</p>  <p>複雑化する電子機器開発においては、限られた時間の中で、製品品質を担保することが求められています。本セッションでは CR-8000 をプラットフォームとした回路解析連携、SI/PI/EMC 検証ツールの活用について事例を交えてご紹介いたします。</p>
10:40 11:15	<p>4L2 [お客様事例]</p> <p>オンテックでの高品質基板設計【EMI 編】 ～ AI・シミュレーション・測定を用いた対策事例～</p> <p>株式会社オンテック プリント回路事業本部 プrint回路デザイン技術推進センター センター長 徳正 一郎 様</p>  <p>昨年は SI 解析や PI 解析等シミュレーション全般に関する内容を弊社製品を題材に発表しましたが、今年は EMI に関する内容に絞って発表させていただきます。製品の EMI 性能はプリント基板設計に大きく依存します。EMC Adviser EX や電磁界シミュレーター (ADS) を使い、どうやって EMI 性能を向上させるか、オンテックでの取り組みを紹介させていただきます。</p>
11:20 11:50	<p>4L3 [お客様事例]</p> <p>エレキ設計システム刷新への挑戦！ ～バリバリのカスタムからノンカスタムへ～</p> <p>株式会社リコー デジタル戦略部 基盤開発統括センター コーポレート基盤開発センター 第2改革推進室 設計1グループ シニアスペシャリスト 伊藤 淳 様 設計3グループ スペシャリスト 幅岸 俊宏 様</p>   <p>弊社エレキ設計システムは内製で構築してきました。しかしながら、システム老朽化や業務要求 (回路ブロック管理、シミュレーション連携による上流設計の実現など) への対応が課題となっていました。本講演ではカスタマイズを行わない方針のもと、エレキ PDM (DS-CR, DS-E3) とエレキ CAD (CR-8000, E3.series) を刷新し、PLM システム刷新とあわせ同時にリリースを行った事例について発表します。</p>
12:00 12:30	<p>4L4</p> <p>イベント閉会のご挨拶 プレゼント抽選会</p> <p>株式会社図研 代表取締役 社長 勝部 迅也 専務取締役 事業本部長 上野 泰生 専務取締役 技術本部長 飯屋 和浩</p>  <p>本イベントの閉会に際して、図研の勝部より一言ご挨拶いたします。その後、イベントご参加への感謝をこめて、プレゼント抽選会を実施いたします。</p>



講演動画を視聴された際は、是非アンケートにご協力ください。

ご回答いただいた方にはプレゼント当選のチャンスがあります。

ZUKEN digital
SESSIONS 2021

常時配信動画

下記の講演動画はイベント期間中 24 時間いつでも視聴可能です

製品開発ロードマップ		
RD1 CR-8000 Design Gateway/ System Planner ロードマップ MBSE とのトレーサビリティ実現、AI 活用、設計品質向上など最新の取り組みを紹介 株式会社図研 技術本部 EE 開発部 部長 大崎 義徳		大規模化、複雑化が進むシステム設計においては、より早いタイミングで設計品質の向上や作り込みを行うことが重要なテーマとなっています。本セッションでは、ブロック設計や回路検証、コンストレイントドリブン設計環境の強化、AI を活用した新しいデザインレビュー環境など System Planner、Design Gateway の最新取組みとロードマップならびに、MBSE などを活用した上流での要求検討や定義から回路設計までのトレーサビリティを実現する GENESYS-CR との連携についてご紹介します。
RD2 CR-8000 Design Force ロードマップ Part1 AI 活用による革新的新機能リリース計画、システムレベル PCB 設計環境の着実な進化 株式会社図研 技術本部 EL 開発部 部長 畑 直樹		電子機器設計の難易度は年々増し、さらにワークスタイルにおいてもリモートによる設計など大きく変化しようとしています。CR-8000 Design Force はそのような変化に柔軟に対応すべく、PCB 設計を強力に支援する機能開発を行っています。本セッションでは CR-8000 Design Force の最新機能と将来計画について、また今後 AI 技術を活用した機能群のリリースを控えておりこれらを中心にご紹介いたします。
RD3 CR-8000 Design Force ロードマップ Part2 大規模化する電子機器、新ワークスタイルに対応する次世代エレクトロニクス協調・解析環境 株式会社図研 技術本部 EL 開発部 EL2 セクション セクションマネージャ 吉島 憲輔		大きなワークスタイルの変革により、設計環境も中央集権型から地方分散型へ変化しています。一部のエキスパートに解析検証業務が集中している現状は、設計フローの改善において大きなネックになっています。本セッションでは、新解析モジュールが統合された Design Force が設計者個々にローカライズされた設計環境としてどのようにご活用いただけるかをご紹介します。またエレクトロニクス領域の取り組みとしてメカデータの活用事例や Ansys 協調の次期開発テーマ案についても触れさせていただきます。
RD4 CR-8000 Design Force ロードマップ Part3 半導体パッケージやモジュール部品の先端実装を支援する SOC/PKG/PCB 協調設計 株式会社図研 技術本部 EL 開発部 EL4 セクション シニア・パートナー 古賀 一成		世界の生活様式が大きく変わり、今後の経済活動の不透明感が強まる一方、2021 年の半導体市場予測は上方修正され、さらなる技術革新が注目されています。本セッションでは、今後注目される InFO や chiplet などの先端半導体パッケージから従来からの低コストなワイヤボンディングタイプのパッケージ、さらにはパワーモジュールに対応した CR-8000 Design Force の機能をご紹介します。また、東工大との 3 次元半導体積層に関する共同研究開発の最新情報をお伝えします。
RD5 CR-8000 DFM Center ロードマップ FPC 設計製造リードタイムを大幅短縮する最新機能と多様な分業形態への対応 株式会社図研 技術本部 EL 開発部 DFM セクション セクションマネージャ 弦間 一泰		国内の基板製造、部品実装のエンジニアリング部門では依然としてベテラン技術者に依存している状況が見受けられます。特に FPC 製造では Rigid 基板に比べ取り扱う部材が非常に多く、また形状もさまざまなためベテラン技術者への依存が顕著で、さらに各部門への伝達にはドキュメントを用いるという全てマンパワーに頼った形で海外メーカーと競い合っています。本セッションでは、ものづくり大国 = 日本を持続可能にする、人依存からの脱却および FPC 製造準備のリードタイムを大幅に短縮することができる CR-8000 DFM Center の最新機能をご紹介します。
RD6 DS-2 ロードマップ Part1 (DS-CR) Web/ ナレッジ、PLM/ERP 連携などエンジニアリングデータを活用する実用的 DX 推進 株式会社図研 技術本部 PLM 開発部 部長 高木 良亮		COVID-19 に限らず、各種災害、国際情勢、新テクノロジーの到来とあらゆるものを取り巻く環境が変化し、将来の予測が困難な時代に突入しました。この時代を乗り切り、リードするには、デジタルデータを活用した的確な状況判断が必須となります。そのために、エンジニアリングプロセスやデータはどうあるべきか、部品供給不足の対策などを例に、Web やナレッジの活用、エンタープライズ PLM との連携など、より具体的に実践的な DX 推進のアプローチをご紹介します。
RD7 E3.series ロードマップ マシナリー電装設計環境における多様な図面・帳票形式に対応した着実な進化 株式会社図研 技術本部 A&M 開発部 取締役 部長 早乙女 幸一		Industry4.0 に代表される技術革新が産業機器、電子機器、工場 / プラントなどのマシナリー電装設計環境に広がっています。搭載センサーや機能の増加に伴う製品の複雑化が進む中で、さまざまな図面・帳票を別々に作成して整合を取る従来の設計環境では図面・帳票間の不整合、設計工数の増加などさまざまな課題が生じています。本セッションでは、シングルリポジトリを用いて多様な図面・帳票間のダイナミックな整合性維持を提供し、これらの課題を劇的に解決する E3.series の有効性、3D-MCAD との有機的な連携などの最新機能をご紹介します。
RD8 DS-2 ロードマップ Part2 (DS-E3) マシナリー / トランスポート電装設計プロセス革新によるフロントローディング実現 株式会社図研 技術本部 PLM 開発部 部長 高木 良亮		顧客志向が強まり多品種少量生産が進む昨今、電装設計プロセス革新によるフロントローディングの実現は、ものづくり企業の至上的課題となってきています。マシナリー領域向け『DS-E3.s』、トランスポート領域向け『DS-E3.i』による各々のプロセスに特化した電装設計支援プラットフォームでのトレーサビリティ環境やモジュール設計環境、企画 / 購買 / 製造との連携強化環境など、設計プロセス革新に向けたアプローチをご紹介します。
RD9 MBSE モデリングツール GENESYS インダストリー分野に向けた GENESYS 機能強化、電子・電気・電装設計との連携実現 株式会社図研 事業本部 PI 推進部 部長 稲石 浩通		COVID-19 の影響が続くなか、対面での会話や連携は益々困難になっています。これまで以上にチームと各々の専門分野連携を強化するためのシステムズエンジニアリングは重要になっています。GENESYS はステークホルダーや協調者、チームメンバー、ドメインエンジニアを結び付ける最適なプラットフォームとなっています。図研と Zuken Vitech 社が提案する MBSE ソリューションと、今後の MBSE モデリングツール GENESYS のロードマップ、CR-8000 との連携をご紹介します。

ZUKEN digital SESSIONS 2021 2021/10/14 (木) - 22 (金)

常時配信動画

下記の講演動画はイベント期間中 24 時間いつでも視聴可能です

新ソリューション企画		
AF1 DX 号令に困っていませんか？ エレキの DX はここから始める 株式会社図研 事業本部 SE 統括部 第一 SE 部 第二 SE 課 チーフエンジニア 梅津 尚昌		ここからエレキ DX の一歩を踏み出しませんか。兎にも角にも DX の号令が掛けられているものの、エレキ設計における DX をどう進めればいいのか分からない、そんなご相談が日々お客様より寄せられています。本セッションでは、エレキ設計 / 製造で DX を推進するための『図研 DX ソリューション』と、お客様の DX 指標を測定し、次に取るべきアクションを導出するための『エレキ DX 診断』についてをご紹介します。
AF2 リリースが決定しました！ 『DR-Navi』と AI で広がる 設計ナレッジ活用 株式会社図研 事業本部 SE 統括部 第一 SE 部 第二 SE 課 主任 高橋 絵美		昨年ご紹介しました『Circuit DR Navi』と『Knowledge Explorer』の連携による AI 適用型設計ナレッジ活用ソリューションは、多くのお客様からのご要望・ご期待をいただき、リリースが決定しました。リモートワークのような働き方の変化は、先輩への気軽な相談や有識者を交えたワイガヤなどで気づきを得る機会の減少に繋がっています。そこで、AI が設計時の勘所や不具合事例といった示唆を与えてくれる仕組みが有効になります。本セッションでは、実運用での具体的な活用イメージについてご紹介します。
AF3 さらに便利に！ 新『E3 Service Utilities』による 効果獲得事例 株式会社図研 事業本部 SE 統括部 第二 SE 部 第二 SE 課 柴崎 佑樹		昨年ご紹介しました『E3.series 機能拡張パッケージ』を、お約束通りリリースしました。全 10 機能をラインアップしており、今年度の拡張では、シート内部品表や回路図 - ケーブル図間の整合性チェックなどの検図機能に加え、より多くの条件を加味した図面 / 帳票の生成機能など、設計業務の自動化範囲拡大による、さらなる効率化を実現します。今回のセッションでは、最新機能を活用した「3 点照合の実現事例」など実際の活用イメージと効果をご紹介します。
AF4 現地・現物・現場が出来なくなった今こそ！ 軽量 3D『XVL』で実現する VR 組立検証 / AR 作業指示 株式会社図研 事業本部 SE 統括部 第二 SE 部 第二 SE 課 沖野 たまえ		設計者が現場に駆け出されていませんか。移動制限によって、リモートワークのような新たな仕事のやり方が求められています。製造業の製品開発においても、これまでの現場主義からの脱却が避けられない課題となっています。図研では『CR-8000』や『E3.series』と軽量 3D データ『XVL』との連携により、上流での設計品質作り込みを提言して参りましたが、本セッションでは、"バーチャル" をさらに加速させて、新たなワークスタイルに対応した設計～製造間の連携についてご紹介します。
AF5 電装設計の要件を明確化！ 『E3.series』の上流を担う 構想設計ソリューション 株式会社図研 事業本部 SE 統括部 第二 SE 部 第三 SE 課 岡本 健吾		電装設計の上流において、属人化されたドキュメントベースの装置仕様検討や、構想段階における検討不足による設計下流での大幅手戻りが課題となっています。そのため、システム全体構成 / 電源系統 / 物理レイアウトといった構想段階で検討する内容を設計データとして構築し、上流で十分な検討を行った後に、詳細設計に渡していくことが重要となります。本セッションでは、電装設計 CAD『E3.series』における詳細設計のインプットとして扱うことを前提とし、構想設計段階でシステム全体の構成や電源系統、物理レイアウト検討を行う新ソリューションをご紹介します。
AF6 リリースしました！ 根拠ある回路設計へ導く 『GENESYS-CR』の活用事例 株式会社図研 事業本部 PI 推進部 グループリーダー 阿部 稔		昨年ご紹介しましたエレキの要求～設計トレーサビリティを実現する『GENESYS-CR』について、多くのお客様からのご要望・ご期待をいただき、2021 年 3 月にリリースしました。製品開発における要求確認から回路設計までの検討経緯を記録することで、抜け漏れのない機能設計、検証 / デザインレビューの効率化が可能となります。本セッションでは、誰でも簡単に使える『GENESYS-CR』の活用事例と、現在企画中の System Planner、DS-CR、Circuit DR Navi と連携した根拠のある電気設計へ導くためのソリューションをご紹介します。
AF7 エレキに 1DCAE を！ 手軽に上流で最適な設計解を導く プロトタイプング手法 株式会社図研 事業本部 PI 推進部 コンサルタント 松下 哲郎		実装方針の検討や見積もりに困っていませんか？構想検討フェーズでは、限られた時間の中でできる限り実現性を検証し、少しでも最適な設計解が求められます。本セッションでは、エレキの構想検討フェーズに 1DCAE の考え方を持ち込み、エレキ 1D プロトタイプングツールを用いて、高い抽象度で手軽に多面的な実現性検証を行って設計見積を支援することで、より早くより正確な設計解を導き出す手法をご紹介します。



講演動画を視聴された際は、是非アンケートにご協力ください。
ご回答いただいた方にはプレゼント当選のチャンスがあります。

ZUKEN digital SESSIONS 2021

常時配信動画

下記の講演動画はイベント期間中 24 時間いつでも視聴可能です

ZUKEN digital SESSIONS 2021

2021/10/14 (木) - 22 (金)

技術パートナー講演

AP1 Ansys System EDB による CR-8000 Design Force 2021 との 3D 電磁界解析環境の紹介

アンシス・ジャパン株式会社
技術部

プリンシパルアプリケーションエンジニア 太田 明 様



Ansys では、長年図研様と基板レベルでの解析連携を提供していますが、フラグシップツールである CR-8000 Design Force は、複合基板やメカモデルの実装を含めたシステムレベルの設計が行えます。これまで、この設計が完了したシステムレベルの解析を行うには、個々のモデルをその都度 Export し、Ansys 側で再度組み立てを行うプロセスが必要でした。今年両社で開発サポートされた System EDB は、このプロセスを大幅に削減することができます。このセッションでは、System EDB による基板を基盤とする電磁界解析 HFSS 3D Layout のシミュレーションプラットフォームを紹介いたします。

AP2 航空 / 宇宙 / 自動車の EMC 問題へのチャレンジ EMA3D Cable のご紹介

アンシス・ジャパン株式会社
技術部

プリンシパルアプリケーションエンジニア 五十嵐 淳 様



航空 / 宇宙 / 自動車の動力の電化、実装される電子機器の増加により、EMC の課題は複雑さを増しています。課題を解決するにあたり、測定を繰り返し実施しても本質的な原因究明にたどり着かず、課題の積み残しが発生することもあります。CAE を活用すればその課題解決の糸口を測定の繰り返しを実施するよりも早くつかむことができます。それができればモノづくりの仕組みが大きく変わるはずで、本セッションではお客様のモノづくりを EMC の観点で解決する EMA3D Cable のご紹介をいたします。

AP3 PCB 特性を考慮する スイッチング電源回路の シミュレーション・フロー

キーサイト・テクノロジー株式会社
EDA アプリケーションエンジニアリング部

佐々木 広明 様



最近のスイッチング電源回路設計では、小型化と高効率化が求められ、スイッチング周波数が高速度化してきています。しかし、急峻なスイッチング波形を使用した回路では、基板の寄生成分の影響により、サージ、ノイズが増大する傾向にあります。本セッションでは、キーサイトの電磁界解析と回路解析の統合設計環境の PathWave ADS を使用した、スイッチング電源の PCB の電磁界解析と回路解析の協調解析フローおよび解析事例をご紹介します。

AP4 3D デジタルツインで 製造業の DX を実現する！ ～『XVL VR』活用～

ラティス・テクノロジー株式会社
代表取締役社長 鳥谷 浩志 様



新型コロナ禍において、急激な変化への変革力が求められ、製造業でも DX (デジタルトランスフォーメーション) が必然となっています。なかでも、組立型の製造業で重要となる作業姿勢や、視認性を、『XVL VR』を用いて、実機完成前にフロントローディングしようと取り組む企業が増えています。本セッションでは、超軽量 3D 『XVL』を用いた DX への取り組みや、その効果を『XVL VR』での事例などを取り上げながらご紹介いたします。

AP5 コンバーター制御のシミュレーション からコード生成

MathWorks Japan
アプリケーションエンジニアリング部

鎌谷 祐貴 様



本セミナーでは CR-8000 と弊社製品との連携についてご説明した後、コンバータを題材としたモデルベースデザインのワークフローについてご紹介いたします。回路と制御の統合シミュレーション、自動コード生成による円滑なラピッドプロトタイプングの実現はもちろん、弊社の Simscape Electrical を用いることでコンバータの熱解析、故障注入といったシステムレベルの検証に活用できるシミュレーションが実施できることをご説明いたします。

AP6 AI 実装ナレッジソリューションの ご紹介

株式会社図研プリサイト
マーケティング部ナレッジ製品営業課
課長 倉本 将光 様



図研プリサイトでは DX 推進における打ち手の一つとして、企業内に蓄積されている膨大なデジタルデータの活用促進、属人化脱却を AI で支援するナレッジ活用ソリューションを手掛けています。本セッションでは、作成中の文書内容から類似の過去トラ、ベテランのノウハウ、最新のレポートなどの技術情報をプッシュ通知で気付きを促す「Knowledge Explorer」を中心に「DR Navi」や「DS-CR」との連携イメージを交えてご紹介いたします。また、電子部品メーカー品質保証部門のクレーム対応業務を AI の力で支援する新製品「Qualityforce」についても、お客様のご活用事例を交えてご紹介いたします。

AP7 盤設計ソリューションを拡張！ 『E3.series』と『BricsCAD』で 設計から製造までを繋げる

図研アルファテック株式会社
営業本部 ソリューション営業課 営業支援グループ グループリーダー 田中 光
株式会社図研
事業本部 SE 統括部 第二 SE 部 第一 SE 課 山下 慎介 様



盤設計プロセスにおいては、レイアウト検討に始まり、機器選定に基づく製造図面作成まで幅広く設計 / 検討を行う必要があります。図面作成は CAD / ツールを活用していますが、検討 / 検証においては、設計初期は頭の中で、実態としては設計の後工程や試作にて行っているケースが多く、手戻りや現物合わせなど非効率な作業が多く発生しています。本セッションでは、検討～設計～製造指示プロセスを明確にし、各フェーズで最適な IT を提供するソリューションをご紹介します。

AP8 図研モデリンクスが提供する System Modeling Solution

図研モデリンクス株式会社
シニアコンサルタント 池田 直泰 様



長らく MBD の推進、立ち上げに従事した経験をもとに、高品質なメカ・エレキ・ソフトの総合的な技術コンサルティング・サービスを提供しています。利用製品に制約をもたない、お客様の技術課題ベースの純粋な技術コンサルティング・サービスとなります。ものづくりのイノベーションを支援する図研モデリンクスの MBD ソリューション事例をご紹介します。



講演動画を視聴された際は、是非アンケートにご協力ください。

ご回答いただいた方には
プレゼント当選のチャンスがあります。

ZUKEN digital

SESSIONS 2021